

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービスはもれび

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026年

1月

5日

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の「できる」「自立」を目指し、地域に住むお子さん一人ひとりに合わせた支援を考え、療育の充実化を図ります。 ・お子様、保護者様、関係機関の皆様との繋がりを大切にします。専門職として日々、技術、知識を向上するように努力します。 					
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様や保護者の主訴や困りごとに寄り添い、具体的な解決策を提示していきます。事業所内や、所属している集団場面でできる力を発揮するように支援を行います。 ・お子様を中心に関係する機関に対しても助言やアドバイスを行い、相互性を高めて関係性を強化していきます。 ・同法人のリハビリテーションと連携を図り、個別対応、集団療育の充実を目指します。 					
営業時間	8時	40分	16時	55分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ADLやセルフケア、身支度の自立を促す。 ・集団の流れに沿って行動することができ、丁寧に取り組む。 ・持参物の確認、次回の必要な物の確認ができる。食育やクッキングなど食事の大切さを促す。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大運動、微細運動、協調運動の実施する。 ・目と手の協応運動や運筆、道具の操作の向上を目指す。 ・リズム遊び、サーキットなど目的に応じた身体の使い方やルールのある遊びを経験する。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・数字やひらがななど学習の土台作りを行う。 ・言葉の理解、発語を促す、物の概念形成を高める。 ・「できた」「わかった」など達成感を感じて、課題の過程も楽しむ。困った時に援助要求を伝えられる。 				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・会話のやり取り、場面や状況の理解を促す。 ・発達段階に合わせて相手にわかりやすく説明する。 ・子ども同士のやり取りが増える（話し合い、クッキング）。 				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的なルールやマナーの学習を行う。 ・小集団で周囲と合わせて行動できるように促す。 ・集団場面を想定して個人の課題に合わせてプログラムを実施する。特性に合わせた環境整備を行う。 				
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・活動後の引継ぎや面談等を通じて、当事業所での様子をお伝えしながら、ご家庭での様子や対応に困っている点などを共有します。 ・連絡帳を利用して、送迎サービスを利用している保護者と連絡を取ります。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・就学に向けた会議に参加する。 ・対象のお子さんについて事前に情報共有を図り、入学後のスムーズな支援へとつなげます。 			
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方から様子を聞いたり、必要に応じて、関係機関と連絡を取ります。 ・担当者会議や幼稚園、学校訪問を実施します。 ・保育所等訪問支援を必要に応じて進めて、連携を強化します。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内外の研修会に参加する。 ・事例検討会開催、参加する。 ・法人内の研修、情報共有を実施する。 			
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り、外出企画、保護者会を実施します。法人内他事業所との交流機会を作ります。 ・図書館、デパートへの作品展示会に出展します。 ・災害時や非常時の備えとして、避難訓練を実施します。 					